

基幹型臨床研修病院・救急指定病院・DPC対象病院



1910年(明治43年)の高木眼科医院を発祥として、100年以上の歴史を持っています。地域の基幹病院として、「プライマリ・ケアから高度医療まで」、「予防医学から救急医療まで」、幅広い分野を網羅し、脳疾患、不妊治療、肝臓病、循環器疾患、呼吸器疾患、生活習慣病など、地域の特性・課題に応じた医療をご提供しています。特に救急医療は、大川市をはじめとする筑後広域・佐賀南部広域エリアなど広範にわたり、月間約300件の救急搬入を受け入れています。救急外来やICU、HCU(高度治療室)など、急性期部門を集約したD棟には、最新の設備を備えた約110㎡の広さを誇る手術室を設けています。

また、2015年(平成27年)春には、最新の放射線治療装置の導入、療養病棟の拡充、予防医学センターのフロア拡張などのリニューアルを行いました。基幹型臨床研修病院として新専門医制度に対応すべく、各研修制度も整えています。

■小児科／小児科は365日(24時間)救急対応を行い、筑後地区だけでなく佐賀南部まで広域にわたり、小児医療の中心的役割を果たしています。また、各専門の小児科医による、低身長、小児神経、おねしょなどの特別外来も行っています。

■がんセンター(PET-CTセンター／放射線治療センター)／地域のがん診療の拠点施設として、がんの早期発見に有用な画像診断装置PET-CTはもとより、320列マルチスライスCTや精度の高い3.0テスラMRIを導入し、より正確で的確な診断を行っています。さらに、がんの早期発見、適切治療に努め、手術療法、化学療法、放射線治療の3つのがん治療法を柱に、各診療科が連携。また、最新の装置を用いた強度変調放射線治療(IMRT)も行っています。

■循環器センター／狭心症、心筋梗塞、不整脈、大動脈疾患などの疾患に対し、循環器内科と心臓血管外科が連携し、心臓カテーテル治療や人工心臓を用いない冠動脈バイパス手術、カテーテルアブレーションなど、最先端の治療を行っています。また、心臓リハビリテーションによる早期社会復帰・再発予防にも努めています。

■産婦人科／不妊センターでは、生殖医療専門医のほか、胚培養士、生殖心理カウンセラーなど、高い知識と技術を持ったスタッフが、多胎妊娠の防止や「レスキュー・イクシー」、腹腔鏡・子宮鏡を用いた治療など、患者様にやさしく効率的な治療および心のケアに努め、年間700件以上の体外受精・胚移植(顕微授精含む)を行っています。産科では、ハイリスクな妊娠や出産後の新生児育成管理に対しても、多職種によるチーム医療で連携、万全の体制を整えています。また、ソフログロー式分娩、育児支援の推進のほか、入院期間を快適に過ごしていただくためのアメニティも充実しています。

■予防医学センター／独立した専用フロアで、質の高い人間ドックを行っています。2015年度(平成27年度)の利用者総数は、日帰りドック、宿泊ドックなど約10,000名になります。ドック受診者が利用可能な温水プール、フィットネスなどを併設し、会員制の「高邦メディカルクラブ」では、健康維持増進のトータルなサービスをご提供するとともに、各科専門医が健康管理をサポートしています。

■呼吸器センター／増加する多様な慢性呼吸器疾患、肺がんの早期発見・適切治療に努め、呼吸器疾患全般の治療、指導、さらに専門の理学療法士による呼吸器リハビリテーションなども行っています。特に2016年(平成28年)4月からは、呼吸器外科が2人体制となり、胸腔鏡を駆使した肺がんの低侵襲手術のほか、呼吸器全般の疾患に対する呼吸器外科手術にも万全の体制で対応します。

■脳神経外科／脳神経外科・脳卒中科では、従来の頭部外傷・脳腫瘍・脊髄脊髄疾患への治療に加え、脳血管障害においては既存の観血的手術のほか脳神経血管内治療の選択もでき、閉塞性脳血管障害においては機械的再開通療法も積極的に行っています。専用のHCUを併設しており、超急性期から急性期のシームレスかつ高度な治療およびケアを行っています。また、水頭症・痙縮・頑痛やパーキンソン病などへの機能的手術も行っており、回復期から維持期(在宅)においても、多職種にわたるチームで支援しています。



救急対応



手術室

予防医学センター
人間ドック宿泊室

予防医学センター/プール



A棟1F受付



ICU



強度変調放射線治療(IMRT)

- 開設年月：1910年(明治43年)
- 敷地面積：20,596㎡ ●延床面積：54,478㎡
- 診療科目：内科、血液内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、透析内科、腎臓内科、脂質代謝内科、内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肝臓・胆嚢・膵臓外科、呼吸器外科、循環器外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科(不妊治療・内視鏡、周産期)、皮膚科、眼科、形成外科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、小児科、小児科(腎臓)、小児科(神経)、小児科(循環器)、小児科(内分泌・代謝)、救急科、病理診断科、精神科
- センター方式：循環器センター、呼吸器センター、不妊センター、結石破碎センター、腎・透析センター、予防医学センター、産業健診センター、肝臓病センター、放射線画像診断センター、がんセンター(PET-CTセンター／放射線治療センター)、臨床微生物・遺伝子検査研究センター
- 病床数：506床(一般病床329床、障害者施設等病床83床、療養病床80床、ICU6床、HCU8床)
- 施設概要

施設基準／一般病棟7対1入院基本料、障害者施設等7対1入院基本料、特定集中治療室管理料3、ハイケアユニット入院管理料1、療養病棟入院基本料1・2、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)等

各種認定／日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本外科学会専門医制度関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設、日本脳神経外科学会専門医研修プログラム関連施設、日本消化器学会専門医制度認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本肝臓学会認定施設、日本神経学会准教育施設、日本消化器外科学会認定関連施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化管学会認定胃腸科指導施設、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本透析医学会教育関連施設、日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本小児神経学会専門医研修関連施設、日本呼吸器学会認定施設、日本病理学会研修登録施設、日本リウマチ学会教育施設、日本大腸肛門病学会専門医修練関連施設、日本麻酔科学会認定病院、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本動脈硬化学会専門医認定教育施設、日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医補完研修施設、日本口腔外科学会認定関連研修施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設